

1. 件名：「原子炉実験所KURの設置変更許可申請に係る新規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング(2)」

2. 日時：令和4年4月21日（木）16時00分～16時35分

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、
中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、
松末技術参与

国立大学法人京都大学 複合原子力科学研究所： 副所長 他4名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料：

・京都大学複合原子力科学研究所 研究用原子炉（KUR）標準応答スペクトルに基づく基準地震動Ssの評価等（コメント回答）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	ヒアリングを開始してよろしいですか。
0:00:03	これカマエでございますこちらもそろってますので大丈夫です。よろしくお願ひします。はい、ではそれではですね資料いただいておりますので資料のご説明からお願いできますでしょうか。
0:00:13	はい。
0:00:14	それでは京大のカマエの方からご説明申し上げます。
0:00:19	今回の資料は前回、2月4日に行われた審査会合の受けてのコメント回答という形で資料を作らせてもらってます。
0:00:30	メディアでもこの等の内容でございますけども、提言あったかと記憶してございまして、
0:00:36	1点目は、終了とスペクトルに適合する模擬地震作成の際にですね、
0:00:43	振幅包絡性だけをですね前回M6.9ということやってましたけど、
0:00:49	学生委員会の方から何しろという話がありましたので、
0:00:53	一応7を使って、再評価をすると。
0:00:57	というところが1点でございます。それから
0:01:00	新知見の反映ということで、我々検討自身、
0:01:05	幾つかありますけども、中央構造線断層体と植松断層体もこれが最終的な基準地震動を決めてございまして、
0:01:14	同じだ。ごめんなさい。中央構造線に関しては前回お話ししたんですけど、ちょっと上間知について少し失念してございまして、今日は、
0:01:22	そのコメントをいただいたので、一応検討用地震としての野辺町断層体の新知見の反映についても説明することと、
0:01:30	ということでこの2点を前回のコメントということで理解をしてございます。とりあえず我々議会に基づいて進めさせていただきます。
0:01:39	それで一つ目でございますけども、2ページから10ページまで、これ
0:01:44	今回模擬地震動をつくる基準地震動までのところということですので、
0:01:50	前回のことを採用してございまして、2ページ目は、
0:01:54	この評価の方針ということで、
0:01:57	我々のところの解放基盤、
0:02:00	後追いの標準応答スペクトルが設定された、地震基盤相当面2200、V sが2200、
0:02:08	メーターパーセク以上ということで、そういうことが求められてるということで、その次にですね我々ところ解放基盤、これは次のページ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	これも再掲でございますけども、3 ページに、
0:02:20	1 次元の地盤モデルのボーリングを見てられたケース計算予定られた地盤モデルがございますけど、ここにありますように、解放基盤面は、V s は、
0:02:30	1590 名の花崗岩、
0:02:32	農業面、それで少し掘り下げますと、
0:02:37	A V S は 2436 という非常に細かな数字ですけども、
0:02:41	これ平均してますので、それ、そこに 2200 を超える地震基盤相当面があるということで、ここに標準 A d d スペクトルを設定した上で、
0:02:51	解放基盤も 3 メーター上ですけども、そこでの基準地震動を決めるとい う、そういう方法で、前回もお話をしたところでございます。
0:02:59	この後は、
0:03:01	先ほど申し上げましたように、
0:03:03	振幅包絡系を M6.9 から何か得るということで他のを
0:03:10	評価の中身は同じでございます、結果だけをお示ししてございませ けど、
0:03:16	4 ページの表とスペクトルであり、
0:03:18	その次の 5 ページ目が、
0:03:20	今回 M7 にした時の包絡形でございます、
0:03:25	左の方に書いてる評価し直した小野田達を使った結果でございますけ どもそこにありますように継続時間、あとそれぞれ包絡系の
0:03:38	各店の時間ですね、それが書いてございます。
0:03:42	それでちなみに右の方に、6.9 を前回やったんですけども、
0:03:47	これがどれくらい伸びてるかということだけを示させていただいて、
0:03:51	前回 6.1 の時は全体的な 28 だったやつが 29.8 になったと。
0:03:56	それぞれこの点も少しずつ伸びて終了の時間も延びてですね、というこ とで、これぐらいの違いだということだけをお見せしてるというこ とで、
0:04:06	あとは
0:04:08	いろいろとスペクトルと、
0:04:10	目次に
0:04:12	いうことの適合性。
0:04:14	の判断基準についてはその右に書いてますように、スペクトル比で 0.85 以上と。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:19	あと S I 比ですねこれ速度不あそこでも徴収も含めた全体的な、
0:04:24	スペクトルのレベルの差でございますけどもこれが 1.0 以上と、これも同じでございます。
0:04:31	それも、すぐ結果を、その次のページにありまして、
0:04:36	制度については、そういう形になってございます。右の上は、スペクトル比、少し文章だけですけども S I 比が 1 を超えていると。
0:04:46	いうこと、あと加速度速度ということでありまして。これは水平動、
0:04:51	その次のページが鉛直動でございます、
0:04:55	これも同じように、適合の度合い、0.85 以上ということと、線路以上ということ、あと加速度速度が左右に書いてございます。
0:05:06	これ鉛直でございます。
0:05:08	これを受けて、
0:05:09	最終的には、先ほど申し上げましたように、地震基盤面相当ですので、3 メーター上に解放基盤がございます。
0:05:17	3 メーター上にほとんど変わりませんが、当然少しの
0:05:22	輸送の違いで少し振幅が開きますけど最終的に線として我々が対応基盤面で設定したのが 8 ページでございます、
0:05:32	ほとんど変わらないという、この数字だけ見るとちょっと減ったり増えたりしますので、
0:05:38	なかなか微妙なところでございまして、そういうことで、
0:05:42	もう S S 店としてられたということでございます。
0:05:45	それで、その次のページ 9 ページはこれこれまでの S s との比較ということでこれも前回お見せしてありますけどほとんど当然、
0:05:52	標準応答スペクトルにほとんどフィット。
0:05:55	言ってる話ですから、これを見ていただきますと赤の、
0:05:59	というところが、今回の
0:06:02	I S S 展でございます。右端の方にもう少し
0:06:05	上下動で、
0:06:07	黒野スペクトル法で、
0:06:11	評価したもののちょっと関心が超えてるということでこれを、
0:06:15	こういって S s になったということでございますけどもその比較を示してございます。
0:06:20	10 ページ目は、その S s をまとめたものでございまして、最大加速度だけが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:27	出てます前回もお見せしましたが、586 と 391 ということで、上下動が当然最大加速度大きくなってございます短縮が大きいということで、
0:06:38	全体の S s の中で一番大きなところを占めていると。
0:06:42	これが一応、
0:06:45	崩落を M7 にした時の結果でございます。
0:06:50	それと次にもう一つのコメント回答ということで、植松断層体に係る新知見の反映ということで、そこにちょっと書いてます我々、指針、新規規制対応した時の申請書の時にですね、
0:07:03	植松断層体についてどういうモデル化をしたかということなんですけども、ここ最近ですね、
0:07:08	国土地理院からその当時は当然なかったんですけど、
0:07:12	国土地理院は活断層像、2000 万 5000 分の 1 の断層図を改訂しまして、植松断層とその周辺という真木芝田小出伴ということで、
0:07:21	令和 2 年ですから 2 年前に出されました。
0:07:25	それによりますと、上野断層逮捕主務ですね。
0:07:30	支部とは別にですね、大阪湾なん避難等が断層というそういう名前で、
0:07:36	大阪湾の沿岸部に南北、南北というは、
0:07:42	北東、南西方向に伸びる断層、新居長澤 21 キロということで逆断層を活断層としては認定されてると。
0:07:51	ということでこれは最新知見というふうに我々理解してございまして、
0:07:55	ただその反映ということではですね左に書いてますけど、
0:07:59	これは今の国どこキリンのその成果ももともと少しそこに書きましたけど文部科学省のですね、
0:08:07	地震本部の重点
0:08:09	官庁調査観測ということで、行いますように平成 22 年から 24 年、
0:08:16	3 年間にわたって、いろいろ断層の調査、運用された。
0:08:21	その結果を受けてこの活断層図、
0:08:25	国土地理院の成果が出てまして、我々ちょうどさ、審査をしてる、我々、この新新規規制対応してる時に、ちょうどそのデータが最新として出てましたので、
0:08:36	まだこの時には論文というよりは文科省のそういう報告書、
0:08:41	レベルでしたけども、そういうものが出たということで、先取りをした形で、
0:08:46	そういう成果を考えて、真上町断層体のあの湾岸通り、湾岸沿いの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:54	ものを考えたということで、少し
0:08:57	石渡さん、北田朝田、国土地理院の
0:09:01	単点両方両端といいますか、そこは少し地名は変わってるんですけど
0:09:08	よく見てみると、我々の適用したのが26ということで、
0:09:13	国土地理院の間に十分な、少し長めの評価をされてたということでこれ幸 いしたわけですけども、
0:09:19	あそこの地名も、
0:09:22	南の方は我々の南の方ですから、
0:09:26	そこにありますように阪南市の尾崎というところが
0:09:31	国土地理院は探偵に
0:09:33	端部になってるんですけども、
0:09:36	この、この当時の重点観測では、もう少し歩南西
0:09:43	というのを、過去作りというところまで延びてたということで総延長が 26ということで、21キロに対する26ですから、より長い断層体を
0:09:54	想定してたということで、すでに新知見は、
0:09:58	その当時からも反映した評価をされたということが結論でございます。
0:10:03	1012ページにその当時の審査会合の絵がございますけども、ちょっとこの、
0:10:09	小杉審査会合でちょっと修正をしたい。ちょっと差し替えさせていただ きたいというのはですね、こういう資料の審査会合が何回もリバイスをして、
0:10:18	してましてちょっとお願いがあったもんですからちょっと私間違ってますね 少し古いものをつけてしまって、
0:10:24	といいますのはそこの箱書きの中に、
0:10:27	26度とか温度がいいんですけども、断層長さ72キロm、約7.9と。
0:10:33	この時はですね保守分とその今の、
0:10:37	湾岸部のやつだけでして、実際ご存知のように、
0:10:41	鷲見内藤区当局はですね、二つあってですね、最初にモデル化の中には そういうものも入れてまして、
0:10:48	そうすると最終的には84キロとM8.0というのが我々検討地震だったので、
0:10:53	その絵もございますので、ちょっと少し頭審査会合で、それを
0:10:59	承認されてますのでそれに差し替えさせていただきたいと、すいません ちょっと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:04	あとその数字を見て、気づきまして申し訳ございません。
0:11:09	そこの文章だけです。
0:11:13	当局が入ったというようなことで等が入ったりして最終的に 8.0 という ことで、
0:11:18	ただ 13 ページは、そういうものをベースにモデル化したものでござ いましてそこに当局二つの当局も入ってますので、
0:11:25	こういうことでモデルこれにですけども 1 もあります。一応アスペリテ ィの大きさとか違うだけで、供試的なパラメーターは一緒でございます のでこういう形で支部と、あと担当側とファンドとあと当局も入れて、
0:11:40	トータルな断層面を設定したということです。当局は波がほとんど出て ませんが、
0:11:46	断層の面積に影響しますので、規模に影響しますので、そういう形でや ったと。で、
0:11:52	繰り返しますけども町田総代についてもですね、あの当時から新知見と して出てきた、できてた。
0:11:59	そういう情報を先取りして、評価に加えてたということで、特に新たな 知見、
0:12:07	の反映としては、不要であるということでございます。
0:12:11	以上簡単ですけど以上がこの資料の説明でございます。
0:12:15	はい、どうもありがとうございました。うちから何かあればお願いしま す。
0:12:21	規制庁長井ですけども、植松断層のところをですね、
0:12:27	ちょっと修正たとわかりやすいと思うともわかりやすさと事実を反映し たいってということなんですけども、まず指摘事項、こちらから指摘とし てコメント回答って形で、
0:12:38	あれ、1 ページ目なんですけど、
0:12:41	後半の部分反映について説明することではなくて例えば反映の必要性と か反映の有無とかに、
0:12:48	していただくか事実 2 タイプ、適切なまずそこを直していただければ と。
0:12:53	思うところと、
0:12:55	もう合わせていきますが 11 ページに先ほど説明された点なんですけど、 地名で書かれると多分地名わかる方にはわかるんですけどわからない方 にはやっぱりわからないので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:06	左下の下から 3 行目の少し前あたりに、
0:13:11	例えば、パン分は寄居。
0:13:15	長くなるようにとかですね、そういう
0:13:17	修飾をつけていただいた地名がなくてもですね、兄弟の評価の方が長いということがわかるような文にさせていただければと思いますがいかがですか。
0:13:29	はい。広野カマエでございます。まず例は、矢野部は
0:13:34	ありがとうございます反映の有無について説明することにさせていただきたいと思います。それと今の植松断層の単点の部分も少し、当然担保が箱づくりっての少し南に行ってますので、
0:13:46	そういう今のことがわかるように、追記をさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。はい。よろしく申し上げますカマエ先生卒園済んでる方当然違いがわかると思うんですけども、例えば北海道の方に聞いて、
0:13:58	これ地名でわかるかってわからないので、その辺りわかるような就職をですね入れていただければと思います。私から以上です。
0:14:06	いや、この図で脱ぐ絞ればいいんだけど、なかなかこの、
0:14:10	両方ともですね、国土経営の方もどこがこうでって地名まで書いてないので、なかなかズッと二つ出してこ、どちらの範囲かってのは見にくかったもんですから一応地名で書いてあったんですけど、
0:14:23	今のご指示に従って修正させていただきます。すみません。ありがとうございました。
0:14:32	すみません。規制、規制庁の佐藤ですけども。
0:14:37	そうですね上間知断層宇和町上間地断層の今の話なんですけども、
0:14:43	一番最後に菊川の時の資料モデル図がありますけども、
0:14:49	これとのちょっと位置関係みたいなものがですねちょっとよくわからないところがありまして、
0:14:54	これできればですねこの 12 ページと 13 ページを見開きで何か見えるような形にさせていただけるとありがたいんですが、
0:15:06	もう少しこの、すみません京大のカマエです。13 ページは両方ともケースの 1 から 3 とか動かないとかって言って、書いてますけど
0:15:15	この資料、これはもう、そのオリジナルを使った方がいいと思ってましたし少し加工してですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:23	例えば今の見開きでちょっと両方並べると並べて書くっていう、1枚の紙ではそういう、その対比ができるようなものっていう理解でよろしいでしょうか。
0:15:35	規制庁佐藤ですけども例えば11ページのところに、何か余白とか1枚入れていただいて、
0:15:43	後ろにずらせばこう、うまくこうなんか見開きになる、なるんですけども、
0:15:48	イメージ、おわかりですか。ございません。いや、ほぼ
0:15:54	もう一度すみません。見開き、見開きで11ページの今、
0:16:00	これを、
0:16:02	11ページの前に1枚余白を入れていただいて、
0:16:07	余白。
0:16:08	4ページっていうか、
0:16:11	裏イメージを入れていただいている。
0:16:13	10ページとして何か入れるってことです。そうそうそうそうそう。
0:16:17	これは、
0:16:19	これはない。
0:16:26	そうそう。
0:16:27	はい開いたときに。そうです。おっしゃる通りです。おっしゃる通り残念コピーしてるのでという意味ではね、おっしゃるおっしゃる通り、わかりました。
0:16:39	わかりました。すみませんそれが悪くて、特に加工する必要ないですね。
0:16:45	そういうところ使えば、はい。私が言いたいことじゃなくて単にページを二つのページを見開きで見れる。
0:16:56	はい。
0:16:56	その工夫でいいってことですな。
0:17:00	あとこれできれば、はい。いいです基本はいいです。再掲のところに
0:17:05	これも長さを入れていただいた方がいいかもしれないっすよね何か。
0:17:10	再掲の13ページとかのところ、
0:17:14	はいはいはいはい。断層それぞれのセグメントの長さですね、トータルすれば
0:17:25	まずね、ここにこのこれセグメントの長さよりはあれですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:31	ここのセグメントの長さのパラメータ表には出てるんですけどもそれをこれ、ランドはこれ、一つのセグメントですから、これが26掛けをかけて、支部の当局とは言ってるんですよ。
0:17:48	志間それぞれ
0:17:50	主部とそれからあと、北川と、
0:17:53	そうです。シャムとそうです。それぞれその三つ目のイベントの長さは書いてますけど、はい。
0:18:00	例えば84キロになりますけど、
0:18:04	その情報、情報これ書いていただいたほうがわかりやすすくないでしょうかね。
0:18:09	そや、別に先ほどの84.78.0というのは12ページを差し替えますので、その根拠がこのパラメーター
0:18:20	この13ページのこの図で、
0:18:23	他社が84になるということと、南東な湾岸沿いが26キロだということをはい、ガブカということですね。はい。
0:18:33	わかりました。これ13ページにちょっと開発、開発修正ということで、すいません再々再掲ではなくてちょっとそういう形にさせていただきます。
0:18:42	また一度どっちみち案を送ってまた、
0:18:45	見ていただくことになると思いますけどよろしくお願いします。
0:18:51	お願いします。
0:18:52	あと、標準とスペクトルの方なんですけども、
0:18:56	これ前回6.5でやった時にですね、3メーターなんですけどもわずかですけど上に上げた時は、
0:19:04	最大値、加速度の最大値として607とそれから、水平が670鉛直が400ってということで、今回、
0:19:14	7にしたんですけどもちょっとあれですよ。ちっちゃくなってますかね、これ。これね、これは多分そういうのちょっと気になるかなと思って、すいません。ただ、
0:19:25	おそらくご存知のようにこれ乱数によっていろいろ変わってですねこれ何百ケースって計算してるわけですけどそっからもう一つ、飯野セレクションしたらいい悪いもなかなか難しいんですけどもね。
0:19:36	それで当然冷めた位置を鳥瞰者で計算してるのでちょっと狭い層の問題で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:42	災害時ですから、
0:19:44	速度でいうとそんなあれだけどやっぱその最大加速度で見たりちょっとこうしたことで、上下しちゃうので、いやちょっとそれ気になって、
0:19:52	それが前よりも多くなるような、
0:19:55	セレクションということもあり得るんですけども、それをどうしようかなと思って、
0:19:59	前のやつはほとんど縁が切れてっていうふうに理解してたので、
0:20:03	そこちょっとあまりあれをして進めてしまったんですけども、駄目ですか。
0:20:15	ちょっと前もしかしておきかけたのかもしれませんがねもしかしてね、前1回お出しいただいた前回、
0:20:23	谷津が、
0:20:24	可能性はなきにしもあらずなんですけども、多分ちょっと問題だと要するに上げた時の、標準応答スペクトルで作ったというのはそんなに変わらないんですけども、
0:20:35	3メートル上げると当然そこ伝達関数によってですねちょっとその最大化することが少し、
0:20:40	その位相によってですね、
0:20:42	当然ランダムな位相というのもやっぱり少し断層の所きちんと変わるのでそれがちょっと影響して、加速度ですかピンと来上がったたり下がったりと
0:20:53	その他、それが656になったりはしませんけども、
0:20:57	600の間をこう下がったりということで何かこう増幅してないようにこれ、現存してるようにも見えたり、
0:21:04	ちょっと後、そういう、
0:21:07	コメントも出るかとは想像はしたんですけども、
0:21:13	いな。
0:21:16	やっぱり、
0:21:17	二倍悪いですか。
0:21:22	すいませんナガイですけども、その点私もちょっと資料見て確認をしていて前の資料の方見ると、
0:21:28	水平少なくともですね0.02秒ちょっと長いところって、応答スペックが一遍に近いんですよ。
0:21:36	今回のね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:39	0.95 ぐらいですよ、0.02 でちょっと長いところって、
0:21:45	多分この差を見てるのかなというふうに私はとらえてるんですけど、それでいいんですよ。だから、
0:21:51	その通りですよ。はい。すいません。カマエですこの、この表現をとるのとの応答比音スペクトル比がありますけど、当然その上下関係ですね。
0:22:02	ある周期でバーと前、承認を取るスペクトルを切ればそこら
0:22:08	レベル感だけで多分今多賀さんおっしゃったように私は後者ですから、
0:22:12	その辺の、これが 0.85 以上というところで縛りを持ってる中ですね、そこをあるところが 0.9 以上にするとかっていう、別なことをすれば当然、
0:22:23	前よりも大きくなったりですね。
0:22:26	そこは非常に
0:22:28	この何百という、たくさんやった中でこれとおんなじようなスペクトル比を探してこいというのが探してくれば、
0:22:35	そういうところは、
0:22:38	少なくとも少し大きいやつを、
0:22:41	選ん選んだりということはありません。
0:22:43	クライテリアの中で、選ぶかって非常に難しいんですけども、
0:22:50	本来取れる。
0:22:52	600 とか 400 にこうフィッティングさせてしまえば、
0:22:55	何を作ろうが 600 と 400 って答えが出せ、これこういうことをやってる電力さんもいらっしまったと思うんですけども、そういう結果に使えばそれもでしようと思ったらできるんですけども、
0:23:05	今、0.85 と 1.0 以上という中で、ここは
0:23:12	もっと暴れるだったのはなるべく
0:23:14	その辺を、
0:23:16	非整合するもの。
0:23:18	というのはご存知のようにも継続時間を変えてもそんなに変わらないので、
0:23:22	ほとんど段数、
0:23:24	どんな乱数を使うかによって答えは変わって、
0:23:28	ということがあって、これが正直なところですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:34	ちょっとこれでいろいろ進んでるんですけども、その審査会合で、前回との比較をさせると。
0:23:40	あとはそういうふう。
0:23:42	そういうことを言わなきゃいけないで、なんかちょっと、
0:23:45	ようありますけども、
0:23:48	一応クライテリア満足はしてるんですけどもね。
0:23:51	ですけども、やはり
0:23:54	田子木口で基準地震動にするっていう観点では、あくまでトータルで見るということを考えると、
0:24:01	ここが仮に小さいにしても、
0:24:04	それを満足せよ例えば、今日の資料で言えば 19 ページ 10 ページ見開きを見つつ、見ればいいんだと思ってるんですが、
0:24:12	設置はもっと大きな値で設定してるんで、
0:24:16	仮に、
0:24:17	小さい質問より大きな値を S S E がカバーしてるっていう観点を考えれば、
0:24:22	耐震設計では対大きな影響はないというとらえられると思うんですけどその辺はいかがですか。
0:24:29	京大の鎌田です。まさにその通りで、あと、これ、法定延長出してますけど施行いうのは鉛直のある子、
0:24:38	単純に動く短縮のところなんですよね。これはほとんどの建物の水平がもうほとんど聞くので、耐震性安全表ですね。
0:24:46	この鉛直が少しかう、ます数があるですね。
0:24:52	上下するということでもそれで施設の安全性が
0:24:56	1 度にマルが的になることは、これはもう 100%、
0:25:00	ないと私は信じてますし、そんなことがあれば大変だなと思いますけど。
0:25:06	少なくともこれ統計的な話なのでこれはどこでも存在する話で、
0:25:11	S G F やる限りはですね、ご存知のようにいっぱいばらつくわけですけども、
0:25:17	うん。
0:25:18	その辺の扱い方はもう、
0:25:21	決定論的な話、モデルは決定のときですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:26	あそこは仕方ないかなと思うんです安全上問題ないということはいえるんですけども、おそらくこの評価の時にそういう話を、
0:25:34	するわけにはいかないと思うんですけど、
0:25:40	何か、はい岩田ですけれどもやっただいていることはもう素直にですねストレートにやっただいてなおかつ標準応答スペクトルと模擬地震はのスペクトル比をとって、検定の範囲内だったということなんで、
0:25:52	個人的な文句のつけようがないので今の質問はですねヒアリングでもありですね、前回から少し小さくなってるとし、今回地震基盤から持ち上げた時も小さくなってるとし、その要因がもし何かわかってればですね、
0:26:05	我々の手持ちとして知っておきたいとそういうことだと思うので、もし、今ご説明いただいた以上に何かなければですね、私はあまり、
0:26:13	本件問題視するとは思ってないんですが、いかがですか。
0:26:16	日高ーありがとうございますもうこれはまさに柳さんおっしゃったその表情と助っ人とのフィッティングの、
0:26:23	が度ですね上下す、上行ったり下へ行ったりという、その時間はこの
0:26:29	条文に上げた時のことっていうのはほとんど短周期側なので、多分今のフィッティングの時刻短縮ところは以前はちょっと上に行ってたやつが、今回はちょっとそれが小さいとかですね、多分標準応答スペクトル。
0:26:43	その辺と、3、3メートルの伝達関数のちょっとしたことで多分、
0:26:49	位相で少し最大値がそういう話になってんだと思いますけども、それ以上のことは、今この場では申し上げないんですけど、
0:26:59	で出てきた結果は、
0:27:01	そういうことが起こった結果ではそういうことからだというふうにはそ推定をされます。
0:27:06	サトウですけども、町並みちなみに参考までなんですけどもこれサイコロですね、よく100回古野河川から古野が1万回降るのかっていう
0:27:16	それにディペンドするかなと思ってるんですけども。
0:27:19	このS1値に適合するのでもうこれ以上はちょっと我々もコメントはできないんですけども、
0:27:26	そのす、それにやっぱり依存依存するものですかね。そそういう検討というのをやっている。
0:27:34	わけですか。いかがですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:36	どうぞ。すいません。ごめんなさいカマエですけど今一応は、ちょっと今おっしゃったことの、どういう、
0:27:45	もうそもそもこれ、
0:27:47	確かに他の電力はですね、割とその 600 とか 400 にこう合わせた形でや ってるんですけども、
0:27:53	間瀬の場合はそうではなくて、ある程度その、うん。
0:27:58	サイコロ振ってですね、そこの S 値を満たしていればですね、それで よしという、そういうところからスタートしてると思うんですけども、
0:28:07	図、それ、それのな何回やってるかっていうところにもちょっと依存す るのかなと思ってんですけども、ただですねやっぱり 600 と 400 とい うのは私も非とても
0:28:19	横目で見てるわけですよ。ただこれ断層でこれ先ほど大戸スペクトル 比を見ても、もう少し三種側で 0.85、
0:28:27	であれば、もっと小さな私は出てこないっていう話もあるし、口頭で 1 でこれ 600、400 ですから、当然それが上下すると当然小さい場合は、
0:28:38	当間の例えば 600 の場合だったら 560 とかですね、570 とか出てきて、 そういうものもあるわけですね。
0:28:45	それは下げて、何百万 600 に近い、400 に近い。
0:28:49	というところでまずはフィーを厳しいやつを一応選んでるつもりです。 全くそれを無視すれば、0.85 と 1 オオイ以上となれば、当然もっと小さ な加速度も出てきますし、
0:29:02	それはやっぱり、どうかなのということもあって短周期構造物というこ ともあってですね。
0:29:08	少しは意識してます。
0:29:09	ただその後にですねやっぱ 3 メーター上げた時に、
0:29:14	どうかっていうのはまだそれはまた別の問題なので、
0:29:17	それを何回もトライアンドエラーへ選んではそれやりとりすれば、何か 全体的に大きなものが出てくるということはそれは当然ありえます。
0:29:26	できます、不可能ではありません。
0:29:29	まず標準応答スペクトルにフィットする模擬地震はというのはそういう ことを、600400 を意識して、
0:29:35	とりあえず選んでるということはありますので、
0:29:38	そこはぜひ、これ
0:29:41	今回もそうですけども、600 に近い 590 幾らとかですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:46	だったらどうもあのだったと思いますので、396と592ということで、景山600に近い値のものを、いろんな中から選んでるってことは町でございませぬ。
0:30:00	はい。わかりました。了解しました。
0:30:22	はい。大体、こちらからは以上なんですが一応一つだけ申し上げておきたいのはですね今回
0:30:31	と、
0:30:32	再度考え方を整理していただいて、
0:30:37	何ページでした。
0:30:40	4ページ目ですね。はい。前回の議論を踏まえてですね、
0:30:45	基本欄水槽のやり方を選定するということを書いていたので、この説明でですね、をしていただければよろしいと思いますし、あえて前回も少し議論になりましたけれどもその観測記録を使って云々の話はですね、会合の場では説明されなくてもいいんじゃないかと思っておりますので、
0:31:01	一応念のため発言させていただきました以上です。
0:31:04	いえ、今日参加ますどうもありがとうございます。ちょっと私もそういうことをあの時は、少しそういう検討してたもんですから、
0:31:12	余計なことを言って申し訳ありませんせかくも、そういう落としどころを見つけていただいて、当然の話で科学的技術的にも当然3メーターの話ですので、そういうものが影響しないってことは明白ですし、
0:31:24	実際それは作ってるんですけども継続時間の短い波ができるだけの話で、
0:31:29	あまりその、それがどうかっていうのを、
0:31:32	説明するすべがなかったもんですから、ちょっとあれからいろいろと近江さんにもいろいろコメントさせていただいて、ぜひ審査会のときには当然そういう今のような説明だけで、
0:31:42	承知したいと思っておりますのでありがとうございますすいませんでした。
0:31:46	はい。よろしく願いいたしますありがとうございます。そうするとですね今ちょっと我々考えてるの5月の13日ですかね、審査会合でこの件をですねコメント回答いただこうと思ってるんですがご都合とかはいかがでしょうか。
0:32:00	大丈夫ですそれは以前から承ってたので、一応、何関係者、OKだということでちょっと駄目な人もいますけど対応が十分できますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:12	それで、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。はい。先ほど少し資料のですね作り方というか見開きにするとかですね長さを入れるとかといったコメントがありましたのでその辺対応していただひてですね、送っていただければもうそれで我々審査会合に向けて準備をしたいと思ひますので、
0:32:27	あと資料番号その他についてはですね、事務的にご連絡をさせていただきます。
0:32:32	あと全体の説明時間ですけれども 10 分ぐらいでよろしいですか。
0:32:37	はい。京大の釜谷でございます。大丈夫です。
0:32:40	はい。それでよろしくお願ひいたします。当方からは以上でございますが何かございますか。
0:32:49	はい特にございません。また
0:32:52	事務的などところで、今のデータの話というのはまた大井さんと、多分期限もあると思ひますので、なるべく早く作って時代をまた見ていただくということでお送りしますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。どうもありがとうございました。本日はありがとうございました。また時間をですね変更させていただきます、すいませんでしたありがとうございました。
0:33:08	他へ何が、こちらこそ、どうもありがとうございました。失礼します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。